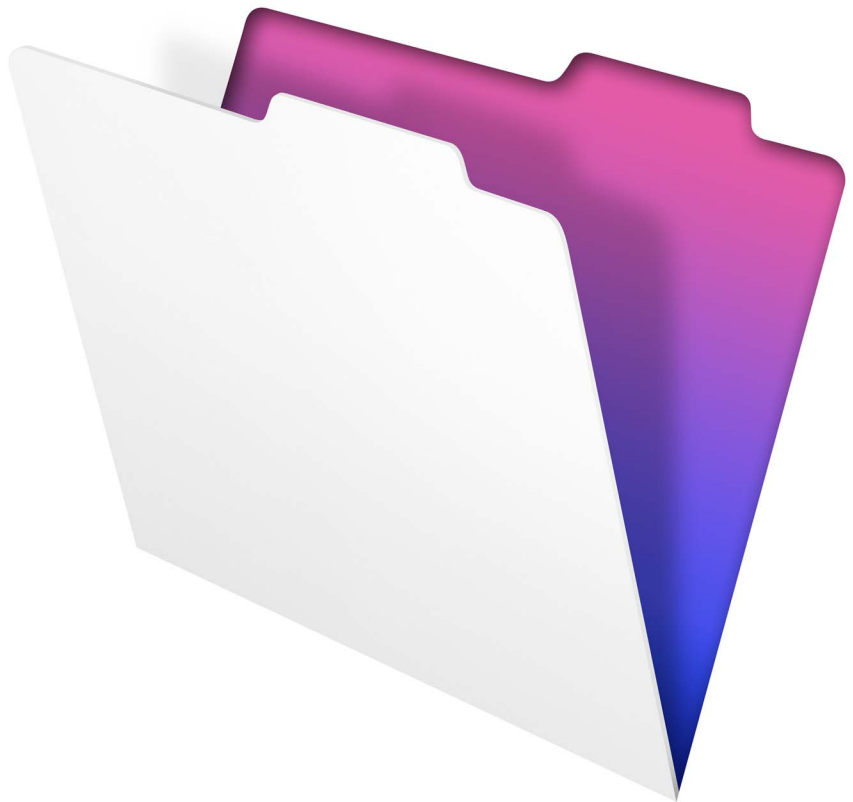


FileMaker® Pro 11

ネットワークインストール
セットアップガイド



© 2007-2010 FileMaker, Inc. All Rights Reserved.

FileMaker, Inc.
5201 Patrick Henry Drive
Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカーは、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ファイルフォルダロゴは、FileMaker, Inc. の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。

詳細情報については www.filemaker.co.jp をご覧ください。

第 01 版

J09506-002A

目次

ネットワークインストールセットアップガイド

このガイドについて	5
ライセンスキーの検索	5
Windows での FileMaker Pro のインストール	5
インストール方法の選択 (Windows)	5
Bonjour のインストールについて (Windows)	6
ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (Windows)	7
コマンドラインからのインストール (Windows)	7
設定支援サイレントインストールの設定 (Windows)	8
MSI 変換の設定 (Windows)	9
Mac OS での FileMaker Pro のインストール	10
インストール方法の選択 (Mac OS)	10
ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (Mac OS)	10
コマンドラインからのインストール (Mac OS)	11
Apple Remote Desktop を使用してリモートインストールを実行する方法 (Mac OS)	11
登録ファイルについて	11
登録のプロパティの設定	12

ネットワークインストールセットアップガイド

このガイドについて

このドキュメントでは、FileMaker®Pro または FileMaker Pro Advanced のインストールをネットワーク上で設定する方法について説明します。

製品の概要および単一のコピーのインストールについては、『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。

PDF マニュアルは、電子ダウンロードおよび製品 DVD で提供されています。次の方法で電子マニュアルを入手することもできます。

- FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced で、[ヘルプ] メニュー > [製品マニュアル] を選択し、サブメニューから目的のマニュアルを選択します。
- Web 上で www.filemaker.co.jp にアクセスします。

電子ダウンロードまたは DVD には、Windows または Mac OS 用の FileMaker 製品のインストーラが含まれています。このソフトウェアの使用については、ライセンスアグリーメントの条件が適用されます。

ライセンスキーの検索

ソフトウェアをインストールするには、アルファベットと数字を含む 35 文字のライセンスキーを入力する必要があります。ソフトウェアを電子的に購入した場合は、ライセンスキーが記載された PDF ファイルへのリンクが含まれた電子メールが送信されます。製品 DVD のライセンスキーは DVD ケースの裏に記載されています。

重要 ボリュームライセンスまたはサイトライセンスを購入した場合、ライセンスキーは組織用にカスタマイズされています。ソフトウェアをインストールする際は、ライセンスアグリーメント (Proof of License) に記載されている組織名を正確に入力してください。組織名はライセンスアグリーメントに記載されているとおりに大文字小文字を区別する必要があります。

Windows での FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールする前に、ライセンスキーを用意します。詳細については、5 ページの「ライセンスキーの検索」を参照してください。

メモ FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をインストールするには、管理者権限が必要です。

インストール方法の選択 (Windows)

インストールの設定を行う前に、ソフトウェアのインストール方法を決めます。ユーザが FileMaker Pro をインストールする際にライセンスキーと他の登録情報を入力する方法は、インストール方法により異なります。

インストール方法によっては、「Assisted Install.txt」というファイル名の登録ファイルを編集して、製品のインストール前に登録情報を用意することができます。登録ファイルの詳細については、11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。

インストール方法	登録情報
各ユーザがインストーラユーザインターフェイスを使用してソフトウェアをインストールする	インストーラの指示に従い、ユーザが登録情報を入力します。詳細については、『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。
6 ページの「ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (Windows)」	登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集してインストーラに登録情報を入力し、FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のネットワークインストールを標準化します。この方法を使用すると、インストールをカスタマイズすることができ、ライセンスキーの提示や管理を行う必要がなくなります。FileMaker, Inc. では、この方法をお勧めします。
7 ページの「コマンドラインからのインストール (Windows)」	ユーザがコマンドラインから登録情報を入力します。
7 ページの「設定支援サイレントインストールの設定 (Windows)」	サイレントインストールの実行前に登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集します。ユーザによる FileMaker インストーラとの対話は最小限に抑えられます。インストーラは登録ファイルから登録情報を読み取り、インストール画面は表示されません。
9 ページの「MSI 変換の設定 (Windows)」	MSI 変換ファイル (*.msi ファイル) を作成して登録情報を入力します。変更内容はインストーライメージに維持されます。登録ファイルを編集する必要はなく、インストーラから削除することができます。

Bonjour のインストールについて (Windows)

データベースのブロードキャスト、およびリモートデータベースを検出するために、Bonjour サービスをインストールする必要があります。Bonjour がインストールされていない場合や、Bonjour サービスが実行されていない場合、ユーザは [共有ファイルを開く] ダイアログボックスにホストされたデータベースを表示できません。IPv4、IPv6、およびデータベース名に手動で IP アドレスを入力できます。

Bonjour は、FileMaker Pro 11.msi または FileMaker Pro 11 Advanced.msi ではなく、フルユーザインターフェイスモードまたはサイレントモードで Setup.exe を使用した場合にインストールできます。

セットアップ操作中には、次のいずれかが発生します。

- Bonjour が検出されない場合は、インストーラによって警告が表示され、Bonjour をインストールするようメッセージが表示されます。
- 旧バージョンの Bonjour が検出された場合は、インストーラによって警告が表示されます。旧バージョンの Bonjour を手動でアンインストールし、FileMaker でサポートされているバージョンの Bonjour を手動でインストールするようメッセージが表示されます。
- 同じバージョンまたは以降のバージョンの Bonjour が検出された場合は、インストーラによって警告は表示されず、Bonjour のインストールは行われません。

Bonjour を手動でインストールすることもできます。Setup.exe と同じレベルにある「Bonjour」フォルダを開き、「32-bit」または「64-bit」フォルダを開き、BonjourSetup.exe を起動します。

ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (Windows)

FileMaker インストールファイルをネットワークで利用できるようにするには、次の操作を行います。

1. ネットワークボリューム上に、FileMaker Pro インストーラファイルを格納するフォルダを作成します。
2. 製品 DVD 上の「Files」フォルダを検索し、そこに格納されているファイルをネットワークボリューム上に作成したフォルダにコピーします。

メモ インストールファイルをネットワークボリュームにコピーするのではなく、ネットワークで電子ダウンロードまたは製品 DVD を共有した場合は、インストーラは 1 つしか利用できません。つまり、DVD を実行しているコンピュータのプラットフォームでのみインストーラを使用できます。ネットワークで DVD を共有した場合は、登録ファイルは使用できません。11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。

3. 設定支援インストールを設定するには、メモ帳などのテキストエディタを使用して、「Files」フォルダに格納されている登録ファイル「Assisted Install.txt」を開いてください。

4. 登録ファイルを編集します。11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。
5. 「Assisted Install.txt」ファイルに加えた変更をテキストとして保存します。

FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をインストールするには、次の操作を行うようユーザに指示します。

1. インストールファイルが保存されているボリュームをマウントします。
2. 「Setup.exe」ファイルをダブルクリックします。
3. Windows XP、Windows Vista、および Windows 7 にインストールする場合は、ファイルを開く場合のセキュリティ警告ダイアログボックスが表示されます。[実行]をクリックしてインストールを続行します。

コマンドラインからのインストール (Windows)

「Assisted Install.txt」ファイルを編集しなくても、コマンドラインから FileMaker 製品をインストールすることができます。コマンドラインからのインストールでは、管理者としてコマンドプロンプトを実行する必要があります。

1. Windows の場合、[スタート]メニューから [すべてのプログラム] を選択し、[アクセサリ] を選択します。
2. [コマンドプロンプト] を右クリックし、Windows XP の場合は [別のユーザとして実行]、Windows Vista または Windows 7 の場合は [管理者として実行] を選択します。
3. Windows XP の場合、[別のユーザとして実行] ダイアログボックスで管理者を選択し、パスワードを入力して [OK] をクリックします。
Windows Vista または Windows 7 の場合、[管理者のコマンドプロンプト] ウィンドウでコマンドを入力します。

例：

```
msiexec -i "FileMaker Pro.msi" AI_USERNAME="John Lee" AI_ORGANIZATION="FileMaker, Inc."
AI_LICENSEKEY=12345-12345-12345-12345-12345-12345-12345
```

プロパティ名は大文字にする必要があります。詳細については、11 ページの「登録のプロパティの設定」を参照してください。

設定支援サイレントインストールの設定 (Windows)

サイレントインストール中は、ユーザによる FileMaker インストーラの対話は最小限に抑えられます。必要なインストール情報は登録ファイル「Assisted Install.txt」から読み取られ、インストール画面は表示されません。「Assisted Install.txt」の設定については、11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。

サイレントインストールを実行する方法は 2 つあります。ユーザは次の方法でインストールを行うことができます。

- マウントされたボリューム上にある「Setup.exe」ファイルをダブルクリックする。この方法では、「Setup.ini」ファイルを変更する必要があります。詳細については、次のセクションを参照してください。
- コマンドラインでインストールコマンドと該当するオプションを入力する。詳細については、8 ページの「コマンドラインを使用したサイレントインストールの実行」を参照してください。

サイレントインストールのための「Setup.ini」の変更

1. FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のフォルダ内にある「Files」フォルダにある「Setup.ini」ファイルを検索します。
2. メモ帳などのテキストエディタを使用して「Setup.ini」を開きます。
3. [Startup] セクションを検索して、CmdLine= の後に次のいずれかを入力します。

目的	CmdLine= の後に追加するオプションの指定方法
FileMaker 製品をユーザインターフェースを表示しないでインストールする (サイレントインストール)	CmdLine=/q
インストール中に進行状況およびキャンセルボタンを表示する	CmdLine=/qb+
FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をローカルコンピュータのデフォルト以外の場所にインストールする	CmdLine=/qb+ INSTALLDIR=installpath

メモ Installpath には FileMaker 製品のフォルダをインストールするユーザのコンピュータ上の保存場所を入力します。空白は、クォーテーションマークで囲んでいる場合を除いてパスには使用できません。次のパスの例では、C: ドライブにある「Applications」フォルダ内の「FileMakerPro11」フォルダにインストールされます。

C: ¥ Applications ¥ FileMakerPro11

4. 「Setup.ini」ファイルを保存して閉じます。
5. マウントされたボリューム上にある「Setup.exe」ファイルをダブルクリックするようユーザに指示します。

コマンドラインを使用したサイレントインストールの実行

ユーザは、コマンドラインから FileMaker 製品をインストールできます。この方法を使用する場合、インストールが成功したかどうかをインストーラによってユーザに通知することができます。

コマンドラインのサイレントインストールでは、管理者としてコマンドプロンプトを実行する必要があります。

1. Windows の場合、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] を選択し、[アクセサリ] を選択します。
2. [コマンドプロンプト] を右クリックし、Windows XP の場合は [別のユーザとして実行]、Windows Vista または Windows 7 の場合は [管理者として実行] を選択します。
3. Windows XP の場合、[別のユーザとして実行] ダイアログボックスで管理者を選択し、パスワードを入力して [OK] をクリックします。Windows Vista または Windows 7 の場合、[管理者 : コマンドプロンプト] ウィンドウでコマンドを入力します。

次の表は、コマンドラインから設定支援インストールを実行する場合にユーザが使用できるオプションを示します。

目的	ユーザにコマンドウインドウでの入力を指示する内容
FileMaker 製品をユーザインターフェースを表示しないでインストールする (サイレントインストール)	"pathname ¥ setup.exe" /s /v/qn
FileMaker 製品をユーザインターフェースを表示しないでアンインストールする (サイレントアンインストール)	"pathname ¥ setup.exe" /s /x /v/qn
必要に応じて FileMaker 製品をインストールする - 現在のユーザにアドバタイズ (サイレントアドバタイズインストール)	"pathname ¥ setup.exe" /s /v /ju
必要に応じて FileMaker 製品をインストールする - 全ユーザにアドバタイズ (サイレントアドバタイズインストール)	"pathname ¥ setup.exe" /s /v /jm
FileMaker 製品のインストールに成功したかどうかを示すダイアログボックスを表示する	"pathname ¥ setup.exe" /s /v/qn+
インストール中に進行状況およびキャンセルボタンを表示する	"pathname ¥ setup.exe" /s /v/qb+
FileMaker Pro をローカルコンピュータのデフォルト以外の場所にインストールする	"pathname ¥ setup.exe" /s /v"/qb+ INSTALLDIR= ¥ "installpath ¥ FileMaker Pro 11 ¥ ""
FileMaker Pro Advanced をローカルコンピュータのデフォルト以外の場所にインストールする	"pathname ¥ setup.exe" /s /v"/qb+ INSTALLDIR= ¥ "installpath ¥ FileMaker Pro 11 Advanced ¥ ""

メモ

- Pathname にはネットワークボリューム上に作成したインストーラのディレクトリの場所を入力します。
- Installpath には FileMaker 製品のフォルダをインストールするユーザのコンピュータ上の保存場所を入力します。空白は、クォーテーションマークで囲んでいる場合を除いてパスには使用できません。
- インストーラによりコンピュータを再起動するよう求められることがあります。

MSI 変換の設定 (Windows)

MSI 変換 (*.mst ファイル) を使用して、インストーラに登録情報を指定することができます。Orca、MsiTran.exe、およびその他の Windows インストーラ開発ツールについては、www.microsoft.com を参照してください。

1. 「FileMaker Pro.msi」ファイルのコピーを作成します。たとえば、コピーに「FileMaker Pro Assisted Install.msi」という名前を付けます。
2. Orca または同様のソフトウェアを使用して「FileMaker Pro Assisted Install.msi」を編集します。[プロパティ] テーブルで登録のプロパティ (AI_*) を設定します。
11 ページの「登録のプロパティの設定」を参照してください。
3. MsiTran.exe などの MSI 変換ファイル生成ツールを使用して変換ファイルを作成します。たとえば、「Example.mst」というファイル名の変換ファイルを作成するには、次のように入力します。
`msitrans.exe -g "FileMaker Pro.msi" "FileMaker Pro Assisted Install.txt" Example.mst`
4. 変換ファイルをインストーラに適用します。例：
`msitrans.exe -a Example.mst "FileMaker Pro.msi"`
5. コマンドラインを使用してインストーラを実行するか、マウントされたボリューム上にある「Setup.exe」ファイルをダブルクリックするようユーザに指示します。

Mac OS での FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールする前に、ライセンスキーを用意します。詳細については、5 ページの「ライセンスキーの検索」を参照してください。

メモ FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をインストールするには、管理者権限が必要です。

インストール方法の選択 (Mac OS)

インストールの設定を行う前に、ソフトウェアのインストール方法を決めます。ユーザが FileMaker Pro をインストールする際にライセンスキーと他の登録情報を入力する方法は、インストール方法により異なります。

インストール方法によっては、「Assisted Install.txt」というファイル名の登録ファイルを編集して、製品のインストール前に登録情報を用意することができます。登録ファイルの詳細については、11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。

インストール方法	登録情報
各ユーザがインストーラユーザインターフェースを使用してソフトウェアをインストールする	インストーラの指示に従い、ユーザが登録情報を入力します。インストールの詳細については、『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。
10 ページの「ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (Mac OS)」	登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集してインストーラに登録情報を入力し、FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のネットワークインストールを標準化します。この方法を使用すると、インストールをカスタマイズすることができ、ライセンスキーの提示や管理を行う必要がなくなります。FileMaker, Inc. では、この方法をお勧めします。
10 ページの「コマンドラインからのインストール (Mac OS)」	ユーザがコマンドラインを使用してソフトウェアをインストールする前に、登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集して登録情報を入力します。
10 ページの「Apple Remote Desktop を使用してリモートインストールを実行する方法 (Mac OS)」	Apple Remote Desktop を使用してソフトウェアをインストールする前に、登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集して登録情報を入力します。

ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (Mac OS)

FileMaker のインストールファイルをネットワークで利用できるようにするには、まずインストールファイルのディスクイメージ (.dmg ファイル) を作成し、ディスクイメージをネットワークボリュームにコピーします。

1. ネットワークボリューム上に、FileMaker Pro インストーラファイルを格納するインストーラフォルダを作成します。
2. 製品 DVD 上で次のファイルを検索し、インストーラフォルダにコピーします。
 - DVD のルートレベルにあり、登録ファイル「Assisted Install.txt」が保存されている「FileMaker Pro 11.mpkg」または「FileMaker Pro 11 Advanced.mpkg」インストーラアプリケーション
 - 登録ツール (Registration.app)
3. 設定支援インストールを設定するには、インストーラフォルダにあるインストーラアプリケーション (*.mpkg ファイル) を Control キーを押しながらクリックして、[パッケージの内容を表示] を選択します。
4. TextEdit などのテキストエディタを使用して、「Assisted Install.txt」ファイルを開きます。
5. 登録ファイルを編集します。11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。
6. 「Assisted Install.txt」ファイルに加えた変更をテキストとして保存します。
7. インストーラアプリケーションと登録ツールを格納するインストーラフォルダのディスクイメージを作成します。ディスクイメージの作成の詳細については、Mac ヘルプを参照してください。
8. 新規インストーラディスクイメージ (.dmg ファイル) をネットワークドライブにコピーします。

メモ Mac OS では、FileMaker 製品はインストーラにより、現在の Mac OS システムの言語と同じ言語を使用するようにインストールされます。別の言語で FileMaker 製品をインストールするユーザは、FileMaker 製品をインストールする前に、[言語環境] または [言語とテキスト] システム環境設定を使用して Mac OS の言語を変更しておく必要があります。

FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をインストールするには、次の操作を行うようユーザに指示します。

1. インストールファイルが保存されているボリュームをマウントします。
2. ネットワークドライブのディスクイメージ (.dmg ファイル) をダブルクリックします。
3. 「FileMaker Pro 11.mpkg」または「FileMaker Pro 11 Advanced.mpkg」インストーラアプリケーションをダブルクリックします。

コマンドラインからのインストール (Mac OS)

「Assisted Install.txt」ファイルを編集した後、ユーザは、コマンドラインから FileMaker 製品をインストールできます。

1. [Finder] ウィンドウを開き、[移動] メニューから [ユーティリティ] を選択します。
2. ユーティリティ一覧から「ターミナル」をダブルクリックします。
3. [ターミナル] ウィンドウでコマンドを入力し、Return キーを押します。

次に例を示します。

```
sudo -u "<ユーザ名>" /usr/sbin/installer -verbose -pkg "<インストーラのパス>/FileMaker Pro 11 Advanced.mpkg" -target "/Applications"
```

パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されたら、ユーザは管理者権限を使用したアカウントのパスワードを入力する必要があります。

Apple Remote Desktop を使用してリモートインストールを実行する方法 (Mac OS)

Apple Remote Desktop を使用すると、FileMaker Pro のリモートインストールを実行できます。リモートインストールの詳細については、Apple Remote Desktop のヘルプを参照してください。

ライセンスキーやその他の登録情報をインストーラに入力するには、ソフトウェアのインストールを実行する前に、登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集して登録情報を入力してください。詳細については、11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。

登録ファイルについて

設定支援インストールを使用すると、複数のコンピュータを利用する環境において、FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のインストールが容易になります。汎用のユーザ名、組織名、ライセンスキー、インストールオプションなどの情報を登録ファイルに入力しておき、そのファイルをネットワークで利用できるようにします。登録ファイル「Assisted Install.txt」は、FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced を組織のコンピュータにインストールするために、FileMaker インストーラによって使用されます。ファイルは Windows と Mac OS で同様です。

メモ Windows：FileMaker Pro 7 より前のバージョンでは、登録ファイルの名前は、「FileMaker Pro x.pdf」でした。このファイルは引き続き存在しており、設定支援インストールに必要ですが、このファイルは編集しないでください。このファイルは Microsoft SMS で使用されます。

登録のプロパティの設定

このセクションでは、登録ファイル「Assisted Install.txt」のプロパティおよび変数について説明します。

メモ プロパティ名は (AI_*) 大文字にする必要があります。組織名を除く変数の設定では、大文字と小文字は区別されません (AI_ORGANIZATION の説明を参照してください)。

目的	実行方法
すべてのインストールで使用するユーザ名を入力する	AI_USERNAME= の後に名前を入力します。 この変数を空白のままにすると、インストーラにより、Windows を登録する際に使用された名前 (Windows) またはアカウントのユーザ名 (Mac OS) が使用されます。
すべてのインストールで使用する所属名を入力する	AI_ORGANIZATION= の後に名前を入力します。 ボリュームライセンスまたはサイトライセンスを購入した場合は、ライセンスアグリーメント (Proof of License) に記載されている組織名を正確に入力してください。組織名はライセンスアグリーメントに記載されているとおりに大文字小文字を区別してください。 Windows: この変数を空白のままにすると、インストーラにより、Windows を登録する際に使用された所属名が使用されます。
すべてのインストールで使用する有効なライセンスキーを入力する	AI_LICENSEKEY= の後にライセンスキーを入力します。 ライセンスキーの詳細については、5 ページの「ライセンスキーの検索」を参照してください。
Windows：FileMaker 製品の言語バージョンを指定する。この設定は、設定支援サイレントインストールを実行した場合にのみ有効です。7 ページの「設定支援サイレントインストールの設定 (Windows)」を参照してください。	AI_LANGUAGE= の後に言語の名前を入力します。 有効なエントリーは、Dutch、English、French、German、Italian、Japanese、SimplifiedChinese、Spanish、Swedish、または TraditionalChinese です。 Mac OS：言語設定を指定しません。FileMaker インストーラはオペレーティングシステムの現在の言語設定を使用します。
Windows：すべてのユーザが FileMaker 製品を利用できるか、それとも現在のユーザのみが利用できるかを指定する	AI_APPLICATIONUSERS= の後に次のいずれかを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> AllUsers - このコンピュータにログインするすべてのユーザが FileMaker 製品を利用できるようにします。 OnlyCurrentUser - インストール時にログオンしたユーザアカウントのみが FileMaker 製品を使用できるようにします。
ユーザによる新規データベースの作成を禁止または許可する	AI_NONNEWDATABASES= の後に次のいずれかを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 1 - ユーザによるデータベース作成を禁止します。 0 - ユーザによるデータベース作成を許可します。 詳細については、12 ページの「新規データベース作成の制限」を参照してください。
Windows：デスクトップとクイック起動ツールバーに FileMaker 製品のショートカットを作成する	AI_SHORTCUTS= の後に次のいずれかを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 1 - ショートカットを作成します。 0 - ショートカットを作成しません。 詳細についてはこの表の最後にあるメモを参照してください。

目的	実行方法
オンライン登録オプションを示すダイアログボックスを表示または非表示にする	<p>AI_REGISTRATION= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 - ユーザ登録のダイアログボックスを非表示にします。FileMaker 製品により、登録情報の入力を求めるメッセージは表示されません。 1 - ユーザ登録のダイアログボックスを表示します。
インストール時に登録情報のダイアログボックスを表示または非表示にする	<p>AI_SKIPDIALOG= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 - 登録情報のダイアログボックスを非表示にします。ユーザは、インストール時に名前と所属の情報を入力する必要はありません。また、ライセンスキーを確認する必要もありません。(入力したキーが無効な場合は、登録情報のダイアログボックスが表示されます)。 0 - インストール時に登録情報のダイアログボックスを表示します。 <p>詳細についてはこの表の後にあるメモを参照してください。</p>
インストール時に [更新の通知] ダイアログボックスを有効または無効にする	<p>AI_DISABLEUPDATENOTIFY= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 - [更新の通知] ダイアログボックスを無効にします。ソフトウェアアップデートが利用可能な場合に、ユーザに対して通知は行われません。また、[ヘルプ] メニューの [ソフトウェア更新の確認 ...]、および [一般] 環境設定オプションの項目は FileMaker 製品で使用できなくなります。 0 - [更新の通知] ダイアログボックスを有効にします。ソフトウェアアップデートが利用可能な場合に、ユーザに対して通知が行われます。これはデフォルトの設定です。 <p>更新の通知の詳細については、『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。</p>
インストール時に [新しいバージョンの通知] ダイアログボックスを有効または無効にする	<p>AI_DISABLEVERSIONNOTIFY= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 - [新しいバージョンの通知] ダイアログボックスを無効にします。新しいバージョンが利用可能な場合に、ユーザに対して通知は行われません。 0 - [新しいバージョンの通知] ダイアログボックスを有効にします。新しいバージョンが利用可能な場合に、ユーザに対して通知が行われます。これはデフォルトの設定です。

メモ AI_SHORTCUTS および AI_SKIPDIALOG のプロパティは、インストーラがショートカット (Windows) の作成についてプロンプトを出すかどうかを決定します。

AI_SHORTCUTS=	AI_SKIPDIALOG=	結果
1	1	プロンプトなし。ショートカットを作成します。
0	1	プロンプトなし。ショートカットを作成しません。
1	0	ダイアログボックスが表示されます。ショートカット作成のオプションは、ダイアログボックスで選択されます。
0	0	ダイアログボックスが表示されます。ショートカット作成のオプションは、ダイアログボックスで選択されません。

新規データベース作成の制限

ユーザが FileMaker データベースを作成できないように、AI_NONEWDATABASES プロパティを設定することができます。このオプションが設定されている場合、ユーザが次の操作を実行しようとする、FileMaker 製品により警告メッセージが表示されます。

- [ファイル] メニューから [新規データベース ...] を選択する。
- [FileMaker クイックスタート] 画面からデータベースを作成する。
- FileMaker Pro ファイルとしてエクスポートする。
- [ファイル] メニューから [名前を付けて保存 ...] を選択する。
- [新規データベース] ダイアログボックスを開く。
- FileMaker Pro ファイルを修復する。
- [ファイル] メニューから [開く ...] を選択して、タブ区切りテキストなどのファイルフォーマットを新しい FileMaker Pro ファイルに変換する。
- Apple Event を実行して、ファイルを別のフォーマットで開く。

- Apple Event の do menu コマンドを実行して、ファイルを作成する。
- 上記の操作を行うスクリプトを実行する。
- 上記の操作を行うカスタムメニュー項目を選択する。

新規データベースの作成を有効にするには、AI_NONEWDATABASES 変数を 0 に設定して FileMaker ソフトウェアを再インストールする必要があります。

